

# 2026 年度チャレンジ育英奨学金（論文奨励）審査基準について

越谷学生課  
湘南教育支援課  
東京あだち教育支援課

## 1. 審査基準

- 「項目別評価点」：25 点  
以下の観点について、ループリックに基づき 4 段階で評価する。（詳細は最終ページ参照）
  - ①論理性：論理的に展開されているか、矛盾や飛躍はないか。
  - ②妥当性：主張や提案内容が根拠に基づき、適切であるか。
  - ③独創性：着眼点や思考内容に独自性があり、新たな視点や提案が示されているか。
  - ④参考資料の妥当性：資料に偏りがなく、信頼性があり、十分な量が用いられているか。
  - ⑤論文の体裁・文章表現：引用表示・文献表示が適切で、文章表現が整っているか。
- 「審査員裁量点」：5 点  
ループリックの定量的項目には収まりきらない「熱意」「将来性」「文章の魅力」などを総合的に評価する。

以上を合計し、**30 点満点**で評価する。

## 2. 審査対象外（評価不可）基準の取扱いについて

次のいずれかに該当する論文は、審査対象外とする。

- ① 倫理的・法的な不備
  - 剽窃・盗用：他者の著作物やアイデアを適切な引用なしに使用した場合。
  - 公序良俗違反：誹謗中傷、差別的表現、著しく倫理に反する内容。
  - 二重投稿：他の懸賞や学術誌に投稿済みのものと実質的に同一の内容。
- ② 生成 AI 利用に関する不正
  - 虚偽報告：生成 AI を使用したにもかかわらず、その旨を明示しなかった場合。

## 3. 受給決定後に不正が判明した場合の取扱い

受給決定後に、剽窃・盗用、虚偽申告その他の重大な不正行為が判明した場合は、審査委員会の議を経て、受給決定を取り消すことができる。この場合、既に給付済みの育英金について返還を求めることがある。

以上

## 項目別評価点 ルーブリック

- ①論理性：論理的に展開されているか、矛盾や飛躍はないか。
- ②妥当性：主張や提案内容が根拠に基づき、適切であるか。
- ③独創性：着眼点や思考内容に独自性があり、新たな視点や提案が示されているか。
- ④参考資料の妥当性：資料に偏りがなく、信頼性があり、十分な量が用いられているか。
- ⑤論文の体裁・文章表現：引用表示・文献表示が適切で、文章表現が整っているか。

| 評価項目        | 達成レベルと評価点                          |                              |                                     |                                  |
|-------------|------------------------------------|------------------------------|-------------------------------------|----------------------------------|
|             | D<br>(0点)                          | C<br>(1点)                    | B<br>(3点)                           | A<br>(5点)                        |
| 論理性         | 全体的に一貫性がなく、主張が不明瞭                  | 論理展開に矛盾や飛躍があり、根拠と結論が結びついていない | 構成があり、論理の流れを追うことができる                | 矛盾なく一貫した主張がなされている                |
| 妥当性         | 記述内容が課題と無関係、または論拠が不適切で妥当性に欠ける      | 主張と根拠の対応が弱く、妥当性に疑問がある        | 一般的な見解や資料に基づき、一定の妥当性が認められる          | 根拠が適切であり、主張に十分な妥当性がある            |
| 独創性         | 他者の見解の繰り返しに終始し、独自の視点が見られない         | 独自性は乏しく、考察が表面的である            | 一般的な枠組みの中で、自身の意見が一定程度示されている         | 着眼点が鋭く、独自の視点による考察や具体的提案がある       |
| 参考資料と根拠の妥当性 | 資料を参照していない、またはインターネット記事のみ          | 参照した資料は相応しくない、または信頼性に欠ける     | 図書や研究論文の資料を活用し、主張を補完する最低限の根拠が示されている | 信頼性の高い公的データや研究を適切に選択し、効果的に活用している |
| 論文の体裁・文章表現  | 論文作成のルールを守っていない、誤字・脱字、文体の誤りなどが複数ある | 論文作成のルールと文章表現に改善すべき点がある      | 適切であり、誤字脱字も少なく、丁寧な文章である             | 洗練されており、読み手への配慮も適切である            |

また、ChatGPT などの生成 AI を用いる場合には、作業を補助するためのみに使用すること。何らかの理由で、ChatGPT などの生成 AI を使用(\*1)した場合は、使用して記載した文章等がわかるように明示(\*2)すること。

\*1：AI が生成した文章等を直接使用した場合だけでなく、文章等を組み替えた場合、表現を変更した場合、AI が生成した文章等の文意を変更しない場合、変更した場合のいずれのものも含む。

\*2：明示方法を記載すること。(例：『』で括る、アンダーラインを引く等)

**皆様のご応募をお待ちしています！！**